

<評価の技術>

☆特別な評価の技術

クラブで評価訓練に変化をもたらすために使うことができます。

\*円卓評価

このやり方はクラブでの評価課程を向上させるために使うことができます。

この円卓評価は形式ばらない方法で行うことができます。参加者や進め方について自由でオープンな話し合いです。

\*パネル評価

一定の課題を4・5人の会員にパネリストになってもらいプログラムの部分の評価することになります。

\*「即座」の評価

プログラムに変化をもたせたい時に使用する方法です。この「即座」の評価は新しい会員が評価の方法を学ぶによい手段です。

☆評価を実践する方法

絶対的な言葉を避ける	加えて述べる言葉
*いつも	*私の考えでは～
*決して	*～と私は思います
*みんな	*～と私は信じます
*常に	*～私の経験では～

避けるべきアプローチ

評価には避けるべきアプローチがあります。

イ「要約」アプローチ（発表者の要約を述べるタイプ）

ロ「総論的」アプローチ（抽象的で実用に難しい）

ハ「私のやり方でやりなさい」（発表者に規則や手順を教える）

ニ「たてまえだけ」のアプローチ

3月例会

プログラムの前 藤くら